



【新幹線定期報告】

令和3年9月15日
新幹線事業対策室

1. 概況 (西九州新幹線(長崎～武雄温泉)の進捗)

令和3年8月末時点での工事進捗および用地進捗状況は下記のとおりとなっている。

○工事進捗状況(長崎～武雄温泉) (R3.8月末時点)

区分	進捗状況		
土木工事	工事延長 67.0km (長崎県 49.2km、佐賀県 17.8km) ・本線土木工事は、R2.9.23 をもって完成率が100%となった ・土木の付帯工事は、引続き実施中 ・長崎県内の主要な土木工事 40 工事中 33 工事が竣工 (R3.9.15 時点)		
建築工事	駅舎工事	新大村駅	一部の工事を残しほぼ完成 (令和4年3月頃に竣工予定)
		諫早駅	一部の工事を残しほぼ完成 (令和4年3月頃に竣工予定)
		長崎駅	外観がほぼ完成し、内装などを施工中 (令和4年3月頃まで工事がかかる見込み)
軌道工事	レール敷設はルート全体で約 62km、約 94%が完了 長崎県内では約 45km、約 91%が完了 (レール敷設は概ね完了し、一部区間で高さなどの最終調整を実施中) ※脱線防止ガードの設置を除き、レール敷設は令和4年3月頃までに完了予定 ※脱線防止ガードの設置は、令和4年3月頃までに鉄道・運輸機構で全体の4割強(約30km)を行い、残りは開業後にJR九州で行われる予定		
電気工事	電車にパンタグラフを通して電気を供給する架線(トロリ線)や、行先や発車時刻などの情報を表示する案内表示装置(発車標)、駅構内の無線・監視カメラなどを施工中 (ルート全体の電気工事進捗率は約80%) 大村車両基地内の電車線設備について、新幹線工事の事業主体である鉄道・運輸機構と新幹線の営業主体であるJR九州による監査・検査が開始される予定		
機械工事	駅舎の可動式ホーム柵について、諫早駅と長崎駅は工場製作中で、新大村駅は9月から設置開始 未着手である各駅の出改札機は、秋頃から製作を開始し設置予定		
大村車両基地	造成工事が完了しており、基地内の建物の建築工事を実施中 レール敷設工事や電気工事(屋内外照明設備や構内放送設備など)、機械工事も順次実施中		

※竣工予定時期は、鉄道・運輸機構への聞き取り、またはとりまとめ時点での契約工期の工期末月を示したものであり、今後変更の可能性がある。

※鉄道・運輸機構からの情報をもとに、当室にて整理したものである。

※土木工事の完成については、トンネルは覆工完了、高架橋・橋りょうはスラブコンクリート完了、路盤は施工基面完了をもって、完成と整理されている。

※軌道工事の完成率は、高さなどの最終調整まで完了した率を示している。

※電気工事の完成率は、設備の設置が完了した率を示しているが、最終的には諸試験の合格をもって、工事完了となる※前回からの更新箇所を朱書きとしている。

○用地取得実績（長崎県内）（R3.8月末時点）

長崎県全体	東彼杵町	大村市	諫早市	長崎市	全体
取得予定面積 (地上権設定含む)	7.7 ha	33.9 ha	18.9 ha	10.3 ha	70.8 ha
取得済面積 (地上権設定含む)	7.7 ha	33.7 ha	18.9 ha	10.1 ha	70.4 ha
進捗率	100%	99%	100%	98%	99%

※鉄道・運輸機構からの情報をもとに、当室にて整理したものであり、四捨五入により計が合わない場合がある。

※買収予定面積は、用地丈量、設計、協議の進捗に伴い変更を行う。

※前回からの更新箇所を朱書きとしている。

2. 入札公告・結果

令和3年8月17日から9月14日までに、工事2件（長崎県2件）、委託3件（長崎県2件、佐賀県1件）の入札公告が行われた。

入札公告が行われた長崎県に係る工事は、以下のとおり。

<入札公告>

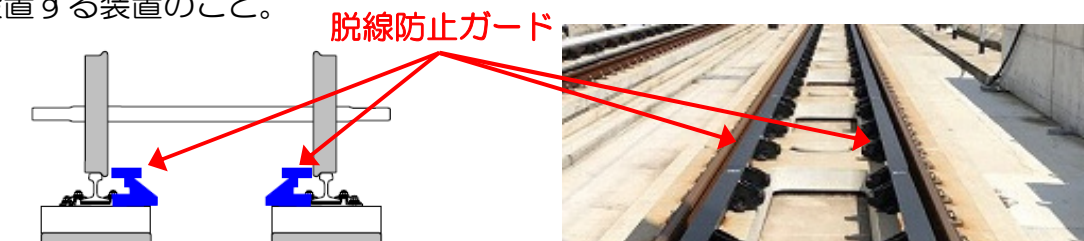
- 工事名：九州新幹線（西九州）、50k9・53k5間減濁水対策設備
 - ・公告日：R3.9.9
 - ・入札予定日：R3.10.15
 - ・工期：15箇月
 - ・工事場所：諫早市・長崎市
 - ・工事概要：50km955m～53km495m（延長2,540m）間の久山トンネルの掘削に起因し発生した濁水の恒久対策を行うもので、貯水槽および受水槽設置、送水管布設等を行う工事。
- 工事名：九州新幹線（西九州）、57k8・61k7間減濁水対策設備
 - ・公告日：R3.9.9
 - ・入札予定日：R3.10.15
 - ・工期：12箇月
 - ・工事場所：長崎市
 - ・工事概要：57km779m～61km720m（延長3,941m）間の新長崎トンネルの掘削に起因し発生した濁水の恒久対策を行うもので、送水管の布設等を行う工事。

3. レール敷設の完了

令和3年9月4日、長崎駅構内において、最後のレール敷設工事が完了し、長崎駅と武雄温泉駅間の全線のレールが1本につながった。（なお、軌道工事としては、一部区間で高さなどの最終調整が行われるとともに、脱線防止ガードの設置工事なども引き続き行われている。）

今後は、駅舎の建築工事や新幹線の走行に必要な電力を供給する電気工事、車両の検査・修理などを行う機械工事など、仕上げに向けて工事が進められている。

※脱線防止ガードとは、地震時に新幹線車両の脱線を防止する目的で、レール内側に設置する装置のこと。



提供：JR TT 鉄道・運輸機構



提供：JRTT 鉄道・運輸機構

長崎駅でつながったレール（前方が線路の終端）

なお、このことについては、9月6日に鉄道・運輸機構より公表されており、詳しい内容は、鉄道・運輸機構ホームページ（以下アドレス）に掲載されている。

< https://www.jrtt.go.jp/corporate/public_relations/pdf/210906_Nishikyushu_press.pdf >

また、長崎県のホームページ（以下アドレス）でも、軌道の構造や工事などについてまとめた、「新幹線工事現場レポート1：九州新幹線西九州ルート『軌道工事』のご紹介」を掲載しているので、ぜひご覧ください。

< <https://www.pref.nagasaki.jp/bunrui/machidukuri/doro-kotsu/kojirepo/> >

（長崎県ホームページ：ホーム>組織で探す>新幹線事業対策室>新幹線工事現場レポート）

（参考：長崎県内の主要土木工事以外の工事竣工情報）

今回は、長崎県内の主要土木工事（40 工事）の竣工は無かったため、それ以外で竣工した工事を3件紹介します。

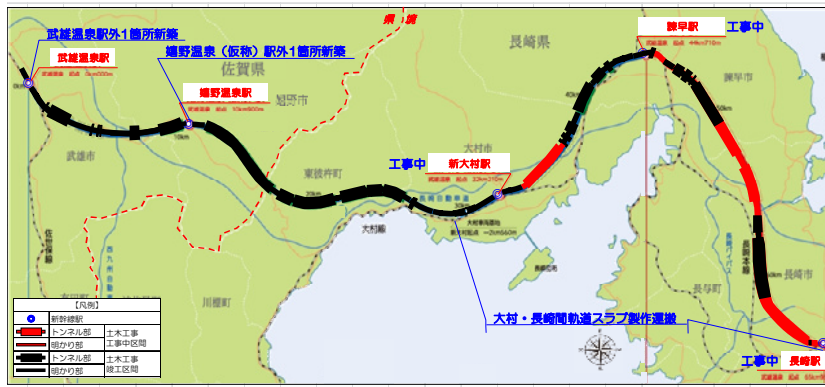
まず、建築工事について、佐賀県内において、平成30年11月6日より進められていた「武雄温泉駅外1箇所新築」工事（前田・松尾・五光JV）が令和3年8月5日に、平成30年12月13日より進められていた「嬉野温泉（仮称）駅外1箇所新築」工事（鹿島・若築・松尾一建工業JV）が令和3年9月10日に、それぞれ竣工した。

なお、長崎県内の駅舎工事は、新大村駅と諫早駅については、一部の工事を残しほぼ完成しており、進捗率もほぼ100%に近い状態である。

また、長崎駅については、外観がほぼ完成し内装などの施工を行っている状況で、進捗率も9割に近い状況あがり、順調に工事が進んでいる。

最後に、軌道工事について、平成29年10月23日より進められていた「大村・長崎間軌道スラブ製作運搬」工事（極東興和・東日本コンクリートJV）が、令和3年8月22日に竣工した。

このように、主要土木工事以外の工事も着々と完成しており、令和4年秋頃の開業に向け整備が進んでいる。



位置図



武雄温泉駅外 1 箇所新築工事
(武雄温泉駅全景)



武雄温泉駅外 1 箇所新築工事
(武雄温泉駅南口側)



嬉野温泉(仮称) 駅外 1 箇所新築工事
(嬉野温泉駅全景)



嬉野温泉(仮称) 駅外 1 箇所新築工事
(嬉野温泉駅温泉口側)



大村・長崎間軌道スラブ製作運搬工事
(工場での製作状況)



大村・長崎間軌道スラブ製作運搬工事
(工場から運搬している様子)

※新幹線（東海道新幹線と山陽新幹線の一部（新大阪駅～岡山駅間）を除く）では、高速での走行安定性や省メンテナンスを考慮して、スラブ軌道を標準軌道構造としている。（スラブ軌道とは、バラストの上に枕木を設置しレールを締結（固定）する構造ではなく、「軌道スラブ」と呼ぶコンクリート盤にレールを締結（固定）するもの。）

